(一財)日本建築総合試験所
建築技術性能証明　評価シート

| 【技術の名称】<br>ＤＳネジカプラー梁ＴＲスキップ工法<br>－主筋継手に横補強筋を配置しない機械式梁主筋継手工法－ | 性能証明番号：GBRC 性能証明 第 10-19 号<br>性能証明発効日：2010 年 12 月 2 日<br>【取得者】<br>ダイワスチール株式会社<br>（現：ＪＦＥ条鋼株式会社） |
|---|---|

## 【技術の概要】

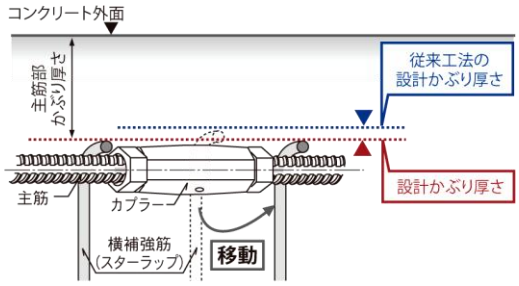
本技術は、主筋継手を配置した鉄筋コンクリート（RC）梁について、主筋継手を配置しないとして求めた横補強筋の組数と 1 組の本数の積で表される全横補強筋を、主筋継手以外の範囲のみに均等に配置する梁主筋継手工法である。本工法で用いる DS ネジバー機械式継手は、A 級継手の性能判定基準を満足するとともに、鉄筋コンクリート梁においてカプラー全長または両側のナットを含めた全長と同じ長さの異形鉄筋（DS ネジバー）の付着強度と同等の支圧強度を有する。また、主筋継手カプラーに横補強筋を配置しなくても、本工法設計指針に従い設計した RC 梁は、設計で要求される終局耐力、変形性能などの構造性能を有することを実験で確認している。

## 【技術開発の趣旨】

従来工法による RC 梁では、機械式継手カプラーにも横補強筋が配置され、同横補強筋位置でのかぶり厚さの確保のために、主筋位置が梁断面の内側に寄り、耐力が減少するなど、構造性能確保の点で問題が生じる。本工法は、これらの問題点の解消を意図して開発されている。

## 【性能証明の内容】

申込者提案工法で用いる DS ネジバー機械式継手は、鉄筋コンクリート梁においてカプラー全長または両側のナットを含めた全長と同じ長さの異形鉄筋（DS ネジバー）の付着強度と同等の支圧強度を有し、本工法による鉄筋コンクリート梁は、長期荷重時に使用上支障を来たすひび割れおよび短期荷重時に修復性を損なうひび割れを起こさず、本工法設計指針に定められた終局耐力および変形性能を有すると判断される。




「DS ネジカプラー梁 TR スキップ工法

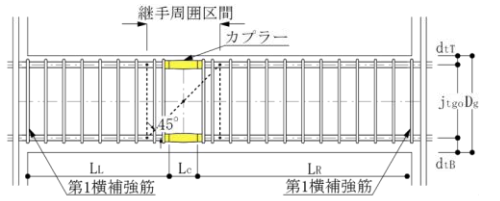



図 1

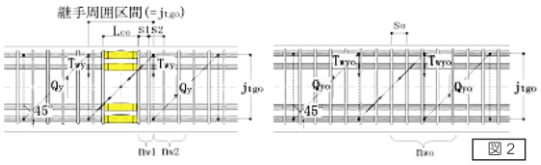
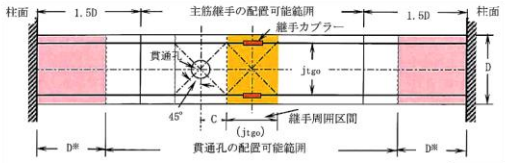



図 2




解図 4.7　本工法による主筋継手と貫通孔の配置可能範囲　図 3

① Lso(LL,LR)≧max(1.5D,LsD)
LsD：ヒンジ領域の応力状態等を考慮した限界距離　図 1

② スターラップ本数及び配置
主筋継手を配置しないとして求まる横補強筋比 pw および ピッチ so によって決定する総本数と同数またはそれ以上。
継手周囲区間およびそれ以外の区間にそれぞれ均等ピッチ s1、s2≦so で配置。　図 2

③ 継手周囲区間は、貫通孔の C 区間内に侵入してはならない。
図 3


【本技術の問合せ先】
ＪＦＥ条鋼株式会社　大阪支社 西日本鉄筋棒鋼営業部　担当者：丸山 透　E-mail：tooru-maruyama@jfe-bs.co.jp
〒550-0002　大阪市西区江戸堀一丁目 9-1 肥後橋センタービル 12F　TEL：06-6443-3364　FAX：06-6443-3376